

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2004-154284

(43)Date of publication of application : 03.06.2004

(51)Int.Cl.

A45D 33/18

A45D 33/00

(21)Application number : 2002-321874

(71)Applicant : SHISEIDO CO LTD
YOSHIDA INDUSTRY CO LTD

(22)Date of filing : 05.11.2002

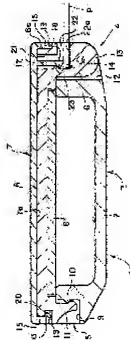
(72)Inventor : FUJIOKA TOMOYOSHI
YUZUHARA YUKITOMO

(54) COSMETIC CONTAINER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a cosmetic container capable of meeting a request to prevent a decorated part from being partly peeled off or falling off a lid body, and capable of enhancing the flexibility to allow a purchaser to select the outer appearance as the purchaser likes.

SOLUTION: The cosmetic container comprises an interchangeable cover 7 replaceably mounted to cover the lid body 6, an engagement part 18 formed in the interchangeable cover 7, a push-up piece 17 mounted to project from the replaceable cover, an engaged part 23 formed in the lid body to be engaged with the engagement part detachably in the vertical direction, a vertical slit 21 formed in the lid body in the vertical direction toward a hinge block 13, into which the push-up piece is detachably inserted, and a lateral slit 22 formed in the hinge block in the horizontal direction, communicating with the vertical slit, for pushing up the push-up piece along the vertical slit to push up the interchangeable cover from the lid body.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

18.08.2005

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

JP 2004-154284 A 2004.6.3

(1) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-154284

(P2004-154284A)

(43) 公開日 平成16年6月3日(2004.6.3)

(51) Int. Cl.⁷

F 1

ナーマコード (番号)

A 4 5 D 33/18

A 4 5 D 33/18 A

A 4 5 D 33/00

A 4 5 D 33/00 G 5 O A

審査請求 未請求 請求項の数 3 ○ L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特開2002-321874(P2002-321874)

(22) 出願日 平成14年11月5日(2002.11.5)

(71) 出願人 000001959

株式会社資生堂

東京都中央区銀座7丁目5番5号

(71) 出願人 000160223

富田工業株式会社

東京都墨田区立花5丁目2番10号

(74) 代理人 100094042

弁護士 鈴木 昭

(74) 代理人 100071283

弁護士 一色 俊晴

(72) 発明者 藤岡 智愛

神奈川県横浜市長谷区早瀬2-2-1 株

式会社資生堂リサーチセンター内

(72) 発明者 植原 幸樹

東京都墨田区立花5丁目2番10号 富

田工業株式会社内

(54) 発明の名称 化粧料容器

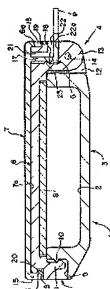
(37) 【要約】

【課題】 加飾部分が蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選べることのできる自由度を高めることが可能な化粧料容器を提供する。

【解決手段】 蓋体6にこれを渡って交換可能に設けられる交換用カバー7と、交換用カバー7に形成された係合部18と、交換用カバー7から突出させて設けられた押し上げ片17と、蓋体に形成され、係合部に上下方向へ係脱自在に係合される係合部23と、蓋体にヒンジブロック13へわたって上下方向に形成され、押し上げ片が挿脱自在に挿入される縦スリット21と、ヒンジブロックに縦スリットと連通させて水平方向に形成され、交換用カバー7を蓋体に対して押し上げるべく、押し上げ片を縦スリットに沿って押し上げ操作するための縦スリット22とを備えた。

【選択図】

図1



(2)

JP 2004-154284 A 2004.6.3

【特許請求の範囲】

【請求項1】

容器本体を開閉する蓋体に、これより一体的に垂下させて当該蓋体を該容器本体に回動自在に連結するヒンジ部を設けた化粧料容器において、
上記蓋体にこれを覆って交換可能に設けられる交換用カバーと、該交換用カバーに形成された係合部と、上記交換用カバーから突出させて設けられた押し上げ片と、上記蓋体に形成され、上記係合部に上下方向へ係脱自在に係合される被係合部と、上記蓋体に上記ヒンジ部へわたって上下方向に形成され、上記押し上げ片が弾抜自在に挿入される縦スリットと、上記ヒンジ部に上記縦スリットと連通させて水平方向に形成され、上記交換用カバーを上記蓋体に対して押し上げるべく、上記押し上げ片を該縦スリットに沿って押し上げ操作するための横スリットとを備えたことを特徴とする化粧料容器。 10

【請求項2】

前記係合部が、前記交換用カバーの前記押し上げ片に形成されていることを特徴とする請求項1に記載の化粧料容器。

【請求項3】

前記横スリットが、前記縦スリットに挿入された前記押し上げ片の直下に向かって傾斜された傾斜面を備えていることを特徴とする請求項1または2に記載の化粧料容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、加飾部分が蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能な化粧料容器に関する。 20

【0002】

【従来の技術】

一般に化粧料容器は、化粧料を収納する容器本体と、この容器本体を開いたり閉じたりする蓋体とを備えて構成されている。そして化粧料容器の外観をなすこれら容器本体や蓋体に対しては、そのデザイン性を高めるために、従来からさまざまな方法によって加飾が施されている。例えば、スパックリングなどによって表面処理を行ったり、転写シートを用いて文字や模様などを転写したり、あるいは模様などを付した上に透明・半透明の層を重ねたりするなどして、容器本体や蓋体に装飾を施すようにしていた。 30

【0003】

なお、本願出願人は、関連する先行出願として、特願2001-249000を出願している。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、従来の化粧料容器にあつては、製品としての化粧料容器を高級感溢れる高い品質で提供するという目的で、加飾部分が容器本体や蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないように、上記いずれの加飾方法にあつても、容器本体や蓋体に対し加飾部分が一体不可分となるように互いに分離不能に一体的に形成しなければならないという要請があつた。 40

【0005】

このような要請は反面、化粧料容器の外観が生産者の選定したデザインに限定されることを意味し、購買者が化粧料容器の意匠的外観を、好みに応じて自由に選ぶようにすることを妨げていた。このため、購買者は気に入ったデザインの化粧料容器を見つけることができず、これが買い控えの一因になっていたと考えられる。

【0006】

本発明は上記従来の課題に鑑みて創案されたものであつて、特に蓋体に対して、加飾部分が部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能な 50

(3)

JP 2004-354284 A 2004.6.3

化粧料容器を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明にかかる化粧料容器は、容器本体を閉閉する蓋体に、これより一体的に垂下させて当該蓋体を該容器本体に回動自在に連結するヒンジ部を設けた化粧料容器において、上記蓋体にこれを覆って交換可能に設けられる交換用カバーと、該交換用カバーに形成された係合部と、上記交換用カバーから突出させて設けられた押し上げ片と、上記蓋体に形成され、上記係合部に上下方向へ係脱自在に係合される被係合部と、上記蓋体に上記ヒンジ部へわたって上下方向に形成され、上記押し上げ片が挿入自在に挿入される縦スリットと、上記ヒンジ部に上記縦スリットと連通させて水平方向に形成され、上記交換用カバーを上記蓋体に対して押し上げるべく、上記押し上げ片を該縦スリットに沿って押し上げ操作するための横スリットとを備えたことを特徴とする。これにより、加飾部分が蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることが可能となる。

【0008】

また、前記係合部が、前記交換用カバーの前記押し上げ片に形成されていることを特徴とする。これにより、化粧料容器の大きさをコンパクトに維持することが可能となる。

【0009】

さらに、前記横スリットが、前記縦スリットに挿入された前記押し上げ片の直下に向かって傾斜された傾斜面を備えていることを特徴とする。これにより、傾斜面を利用して押し上げ片を操作することが可能となり、交換用カバーを交換する際の操作性が向上する。

【0010】

【発明の実施の形態】

以下に、本発明にかかる化粧料容器の好適な一実施形態を、添付図面を参照して詳細に説明する。本実施形態にかかる化粧料容器1は図1～図4に示すように、取柄凹部2が形成された皿状の合成樹脂製容器本体3と、容器本体3の前後方向後端にヒンジ4を介して上下方向へ回動自在に連結されて容器本体3を閉閉するとともに、容器本体3の前端にフック5を介して係脱自在に係合されて当該容器本体3の閉止状態を維持する板状の合成樹脂製の蓋体6と、蓋体6に着脱自在に設けられ、交換可能に蓋体6を覆う板状の合成樹脂製の交換用カバー7とから主に構成される。

【0011】

図示例にあっては、これら容器本体3、蓋体6、並びに交換用カバー7は平面外形輪郭が矩形状に形成されるけれども、多角形状や円形状であってもよい。蓋体6の表面には、鏡8が取り付けられている。

【0012】

フック5は、容器本体3の前端に形成された凹所9内に突設されたフック用突起10と、蓋体6の前端から垂下されてフック用突起10に係脱自在に係合されるフック片11とから構成される。またヒンジ4は、容器本体3の後端から一対突設されたヒンジ片12間に、蓋体6の後端から一体的に垂下させたヒンジ部としてのヒンジブロック13が挟み込まれ、さらにこれらヒンジブロック13からヒンジ片12にわたって形成したピン穴14に、ヒンジピンが挿入されることで構成され、ヒンジブロック13は、ヒンジピンによりヒンジ片12を介して容器本体3に回動自在に連結される。

【0013】

交換用カバー7は、化粧料容器1、本実施形態にあっては蓋体6の意匠的外観を購買者が好みに応じて自由に選べるように、各種のさまざまな加飾が施されたものが用意されるようになっている。これら交換用カバー7に施される加飾部分は、部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないように、交換用カバー7に対し一般周知の方法によって、一体不可分に分離不能に一体的に形成される。交換用カバー7は、その外形輪郭が容器本体3の外形輪郭と一致するようにほぼ同じ外形寸法で形成され、蓋体6の上にこれを覆って重ね合わされる。交換用カバー7の材質は合成樹脂製に限らず、金属製であってもよ

(4)

JP 2004-154284 A 2004.6.3

い。

【0014】

交換用カバー7には、その外周縁から蓋体6側に垂下させて環状の垂下部15が形成される。フック5側に位置する垂下部15には、容器本体3の左右幅方向に適宜間隔を隔てて、交換用カバー7の下面7a側へ折り返すことで係合突部16が形成される。また、交換用カバー7の下面7aには、ヒンジブロック13直上位置から下方へ突出させて、板状ないしはロッド状の押し上げ片17が設けられる。この押し上げ片17の下端には、これより蓋体6の前後方向前方へ突出させて係合部18が形成される。

【0015】

他方、蓋体6には、その外周壁6aから外方へ突出させて、交換用カバー7の垂下部15が配置される環状のフランジ部19が形成される。またフック5側に位置する外周壁6aにはこれを窪ませることで、交換用カバー7の係合突部16が係脱自在に係合される係合凹部20が形成される。そして、交換用カバー7を蓋体6のフック5側から装着することにより、係合突部16が係合凹部20に挿入されて互いに係脱自在に係合されるようになっている。

【0016】

また、蓋体6にはヒンジブロック13へわたって上下方向に、押し上げ片17が傾斜自在に挿入される縦スリット21が形成されるとともに、ヒンジブロック13には、縦スリット21と連通させて水平方向に横スリット22が形成され、これら縦スリット21および横スリット22によりヒンジブロック13には、L字状の通孔が形成される。縦スリット21内には、その内面から蓋体6の前後方向後方へ押し上げ片17の係合部18に向かって突出させて、当該係合部18と上下方向に係脱自在に係合される被係合部23が形成される。そして、これら被係合部23と係合部18とは、押し上げ片17が縦スリット21内に挿入されて、係合部18が被係合部23を乗り越えることによって互いに係脱自在に係合されるようになっている。

【0017】

特に、図2および図4に示すようにこれら被係合部23および係合部18の上向き面18u、23u、および下向き面18d、23dは、ともに上下方向に傾斜させて形成される。そして、押し上げ片17の下降に伴って係合部18が被係合部23を乗り越える際、また被係合部23の下側に位置して係合状態にある係合部18が押し上げ片17の上昇に伴って被係合部23を乗り越える際のいずれにであっても、互いに向かい合う係合部18の下向き面18dと被係合部23の上向き面23u、そしてまた係合部18の上向き面18uと被係合部23の下向き面23dがそれぞれともに上下方向に傾斜されていることにより、これら係合部18および被係合部23の上下方向への係脱がスムーズに行われるようになっている。

【0018】

横スリット22は、交換用カバー7を蓋体6に対して押し上げるべく、押し上げ片17を縦スリット21に沿って押し上げ操作するために備えられ、縦スリット21内に挿入された押し上げ片17の下端が達する位置において当該縦スリット21と連通される。そしてこの横スリット22には、押し上げ片17を押し上げ操作するためのコインなどの押し上げ操作具Pが挿入されるようになっている。具体的には、押し上げ片17の下端と横スリット22の底面22aとの間には、押し上げ操作具Pを押し上げ片17直下に挿入するための隙間Gが形成されている。

【0019】

本実施形態にかかる化粧料容器1の作用について説明すると、化粧料容器1を購入した購買者が蓋体6に装着されている交換用カバー7を、他のデザインの新たな交換用カバー7に交換する際には、図1に示すようにヒンジブロック13内で係合部18が被係合部23に係合している押し上げ片17の直下に向かって、横スリット22内に押し上げ操作具Pを挿入する。そして、横スリット22の底面22aに反力をとって押し上げ操作具Pを押し下げると、これによって押し上げ片17は図3に示すように、縦スリット21内で僅か

(5)

JP 2004-154284 A 2004.6.3

に可撓変形されつつ押し上げられる。この押し上げ操作に伴って係合部 18 は、被係合部 23 直下から引き出されつつ当該被係合部 23 の上に乗り上げ、その後さらに被係合部 23 を乗り越えることとなり、これにより交換用カバー 7 は図 4 に示すように、蓋体 6 から脱離するようにして分離される。

【0020】

その後は、交換用カバー 7 を蓋体 6 の水平方向前方へ押し出せば、係合突部 16 を係合凹部 20 から離脱させることができ、これにより交換用カバー 7 を蓋体 6 から取り外すことができる。

【0021】

次いで、新たな交換用カバー 7 を蓋体 6 に装着する際には、蓋体 6 前端側において係合突部 16 を係合凹部 20 に差し入れて係合させる一方で、蓋体 6 後端側においては、押し上げ片 17 を縦スリット 21 内に挿入してそのまま交換用カバー 7 を蓋体 6 に向かって押し付けられ、押し上げ片 17 の僅かな可撓変形を伴って係合部 18 は被係合部 23 を乗り越えて係合し、これにより新しい交換用カバー 7 を蓋体 6 に重ね合わせて取り付けることができる。

【0022】

以上説明したように本実施形態にかかる化粧料容器 1 にあっては、蓋体 6 にこれを覆って交換可能に設けられる交換用カバー 7 と、交換用カバー 7 に形成された係合部 18 と、交換用カバー 7 から突出させて設けられた押し上げ片 17 と、蓋体 6 に形成され、係合部 18 に上下方向へ係合自在に係合される被係合部 23 と、蓋体 6 にヒンジブロック 13 を備えて上下方向に形成され、押し上げ片 17 が挿入自在に挿入される縦スリット 21 と、ヒンジブロック 13 に縦スリット 21 と連通させて水平方向に形成され、交換用カバー 7 を蓋体 6 に対して押し上げるべく、押し上げ片 17 を縦スリット 21 に沿って押し上げ操作するための横スリット 22 とを備えたので、化粧料容器 1 の外観が生産者の選定したデザインに限定されることがなく、化粧料容器 1 として、購買者が好みに応じて外観を自由度高く選ぶことができ、これにより購買意欲を高めるものとすることができる。

【0023】

また、交換用カバー 7 としては、従来の蓋体などと同様に、加飾部分を一体不可分に互いに分離不能に一体的に形成すればよく、従って加飾部分が交換用カバー 7 から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがなく、製品としての化粧料容器 1 を、従来と遜色のない高級感溢れる高い品質で提供することができる。

【0024】

また、互いに係合自在に係合される係合部 18 および被係合部 23 の上向き面 18 u、23 u および下向き面 18 d、23 d を上下方向に傾斜させて形成したので、蓋体 6 に対する交換用カバー 7 の押し付け操作や、押し上げ片 17 を押し上げる横スリット 22 からの押し上げ操作による係合作業を円滑化することができ、簡単に交換用カバー 7 の交換を行うことができる。

【0025】

また、係合部 18 を交換用カバー 7 の押し上げ片 17 に一体的に形成したので、係合部 18 を別の箇所に形成する場合よりも、交換用カバー 7 の交換操作に要するスペースを削減することができ、化粧料容器 1 の大きさをコンパクトに維持することができる。また、ヒンジブロック 13 を利用してこれに縦スリット 21 および横スリット 22 を形成するようにして、この面からも、交換用カバー 7 の交換操作のために化粧料容器 1 の外形寸法が大きくなってしまふことを防止することができる。また、縦スリット 21 を交換用カバー 7 に覆われる蓋体 6 に形成し、横スリット 22 をヒンジブロック 13 に形成するようにしたので、交換操作に利用されるこれらスリット 21、22 が目立つことはなく、化粧料容器 1 の外観を良好に保つことができる。

【0026】

図 5 および図 6 には、上記実施形態の変形例が示されている。この変形例では、横スリット 22 の底面 22 a が、縦スリット 21 に挿入された押し上げ片 17 の直下に向かって横

(6)

JP 2004-154284 A 2004.6.3

スリット 2 2 の奥にいくに従って、上方から下方へ向かって傾斜された傾斜面で形成されている。これにより、横スリット 2 2 に差し込まれつつヒンジブロック 1 3 の外方に露出される押し上げ操作具 P は、押し上げ片 1 7 を押し上げるための押し下げ操作に便利な斜めの上向きとされ、操作性良好に交換用カバー 7 を蓋体 6 から取り外すことができる。このような変形例にあっても、上記実施形態と同様の作用・効果を奏することはもちろんである。

【0 0 2 7】

図 7 および図 8 には、さらに他の変形例が示されている。この変形例では、係合部 1 8 が交換用カバー 7 の垂下部 1 5 に形成されるとともに、被係合部 2 3 が蓋体 6 の外周壁 6 a に形成されている。この変形例にあっても、縦スリット 2 1 内の押し上げ片 1 7 を、横スリット 2 2 に挿入した押し上げ操作具 P の押し下げ操作で押し上げれば、上記実施形態や変形例と同様に、交換用カバー 7 を蓋体 6 から交換可能に取り外すことができ、上記実施形態等とはほぼ同様の作用・効果を得ることができる。殊にこの変形例にあつては、ヒンジブロック 1 3 の縦スリット 2 1 内に被係合部 2 3 を形成する必要がないので、蓋体 6 の成形金型を簡略化することができる。図示例にあつては、係合部 1 8 および被係合部 2 3 を蓋体 6 の後端側に備える場合を示したが、蓋体 6 の左右幅方向に形成しても良いことはもちろんである。

【0 0 2 8】

【発明の効果】

以上要するに、本発明にかかる化粧料容器にあつては、加飾部分が蓋体から部分的にでも剥がれたり、また脱落したりすることがないという要請に応えることができ、かつまた購買者が好みに応じて外観を選ぶことができる自由度を高めることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明にかかる化粧料容器の好適な一実施形態を示す側断面図である。

【図 2】図 1 の化粧料容器の分解斜視断面図である。

【図 3】図 1 の化粧料容器において、交換用カバーを取り外す最初の段階を示すヒンジブロック周辺の部分拡大側断面図である。

【図 4】図 1 の化粧料容器において、交換用カバーを取り外す最後の段階を示すヒンジブロック周辺の部分拡大側断面図である。

【図 5】本発明にかかる化粧料容器の変形例を示す、ヒンジブロック周辺の部分拡大側断面図である。

【図 6】図 5 の化粧料容器のヒンジブロック周辺を示す、部分拡大分解斜視断面図である。

【図 7】本発明にかかる化粧料容器の他の変形例を示す、ヒンジブロック周辺の部分拡大側断面図である。

【図 8】図 7 の化粧料容器のヒンジブロック周辺を示す、部分拡大分解斜視断面図である。

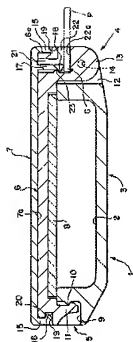
【符号の説明】

- | | | | | | |
|-----|---------|-------|----------|---|--------|
| 1 | 化粧料容器 | 3 | 容器本体 | 7 | 交換用カバー |
| 6 | 蓋体 | | | | |
| 1 3 | ヒンジブロック | 1 7 | 押し上げ片 | | |
| 1 8 | 係合部 | 2 1 | 縦スリット | | |
| 2 2 | 横スリット | 2 2 a | 横スリットの底面 | | |
| 2 3 | 被係合部 | | | | |

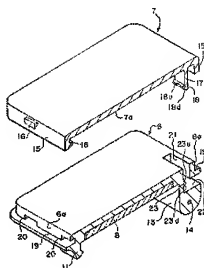
(7)

JP 2004-154284 A 2004.6.3

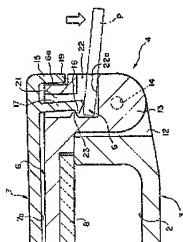
【図 1】



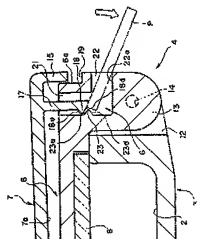
【図 2】



【図 3】



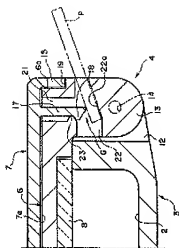
【図 4】



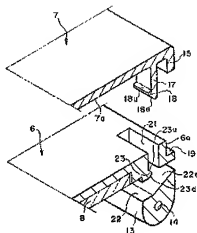
(8)

JP 2004-154284 A 2004.6.3

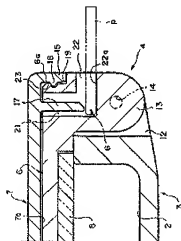
【図 5】



【図 6】



【図 7】



【図 8】

